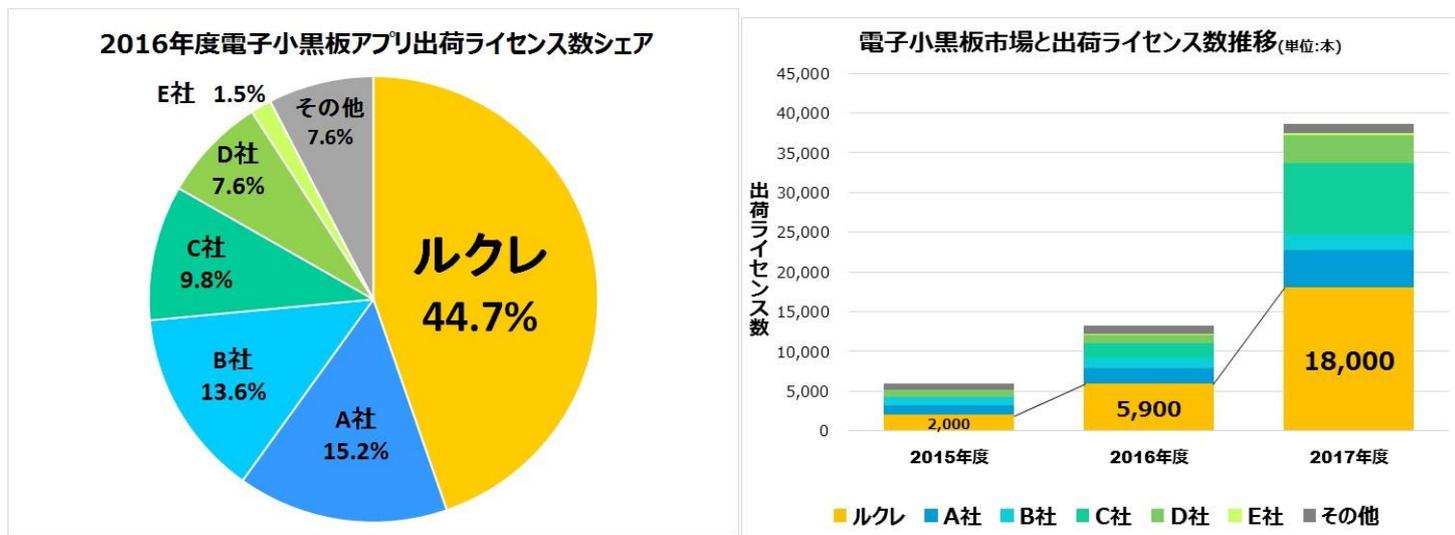


報道関係各位

国交省が認可した電子小黒板のシェアNo.1は「蔵衛門Pad」! No.1記念キャンペーンを本日よりスタート

工事写真管理の定番ソフトとなっている「蔵衛門御用達」の開発元である株式会社ルクレが開発・販売する「蔵衛門Pad」が、電子小黒板市場において、2016年度国内シェアNo.1*1を獲得しました。「蔵衛門Pad」は市場の44.7%を占め、2位の製品のシェア15.2%の約3倍となりました。また、出荷ライセンス数は、前年比約3倍の5,900本と大幅に拡大しています。

公式サイト「蔵衛門.com」(<http://www.kuraemon.com/>)では、本日よりシェアNo.1を記念して、「蔵衛門Pad」を購入すると無料で「蔵衛門御用達17 Standard」が1本ついてくるキャンペーンを開始します。



※1 ミック経済研究所『ミックITレポート2月号』電子小黒板アプリ出荷ライセンス数 2016年度(予測)より

「蔵衛門Pad」は、工事用黒板とデジカメが一体になった、改ざん検知機能搭載のタブレット型電子小黒板です。

ルクレが18年間開発してきた工事写真管理ソフト「蔵衛門御用達」との連携により、シェアを伸ばしてきました。また、2016年には1年間で9回の機能追加のバージョンアップを行う等、ユーザからの要望を素早く取り入れ、現場のニーズに応じていることも厚い支持を受ける要因となっています。

さらに2017年1月にはNETISに登録され、今後iPad版のリリースも予定していることから、2017年度はさらに2016年度の約3倍を出荷する見込みとなっています。



■国交省認可で電子小黒板導入が加速

建設業界では、高齢化が進み人手不足が問題となる中、2020年のオリンピック・パラリンピックの建設ラッシュに向け省人化が急務となっています。その課題を解決する技術として、電子小黒板が注目を浴びています。電子小黒板を導入することで、工事写真の撮影から整理までの作業時間を大幅に削減することができ、省人化が実現します。国交省は、2017年2月1日以降に入札手続きを行う直轄工事で、電子小黒板の使用を認めると各地方整備局に通達しました。これまで国交省の直轄工事の現場では導入ができなかった電子小黒板ですが、認可を受けたことで導入する企業が飛躍的に増える見込みです。2016年度は全体の出荷数が13,200ライセンスだった市場規模が、2017年度には39,000ライセンスと、およそ3倍に拡大すると予想されています。

蔵衛門Pad

【“販売実績No.1ありがとう！キャンペーン”実施概要】

期間：2017年2月15日（水）～2月28日（火）

特典：「蔵衛門御用達17 Standard」1本無料プレゼント

対象者：「蔵衛門Pad」（端末価格：99,800円 ※税別）購入者

詳細はこちら：<http://www.kuraemon.com/price/>

【「蔵衛門Pad」とは】

「蔵衛門Pad」は、工事写真の撮影や黒板の一括登録、写真の自動整理を一台で簡単に行うことができます。また、インカメラ機能やフラッシュ機能、200種類以上の黒板テンプレート等、現場のニーズを受けて開発された機能を搭載しています。さらに、工事写真管理ソフトの「蔵衛門御用達」と連携することで、オンラインでの台帳作成や提出も一貫して行えます。これにより、撮影から台帳提出までの時間を、従来の4分の1※2に短縮します。



■ユーザからのコメント

「蔵衛門Pad」は全国の幅広い業種の現場で導入されています。

企業名	都道府県	業種	コメント
北野建設株式会社	東京都	建設業	作業時間が短縮されたため、その時間を使って協力会社の方との打ち合わせや現場の気になる点の確認、指示を出すことに多くの時間をとれるようになりました。事務所に戻った後の作業では、多くの時間を割いていた写真管理から開放されるため、翌日の仕事の準備や、段取りを把握する時間に使うなど、業務の好循環につながっています。
大林道路株式会社	福島県	舗装・土木	写真管理の省力化が実現しました。施工監督にその場で立会写真確認ができるので便利です。
株式会社ノバック	東京都	総合建設業	台帳に文章を入力する手間が省けます。
トキワホーム	神奈川県	建築	写真整理の時間が激減！手書き入力で操作も簡単です。
有限会社グローブ	埼玉県	リフォーム業	事前に黒板を仕込むことができるので、現場の撮影がスムーズです。
誠和工機株式会社	山口県	総合建設業	黒板を置けない場所の撮影に便利です。もうデジカメには戻れません。
有限会社行政塗装店	兵庫県	塗装	初めて役所に提出しましたが、好評でした。

※2 当社調べ

※3 蔵衛門はルクレの登録商標です

【会社概要】

社名：株式会社ルクレ（英名：LECRE Inc.） <http://lecre.jp/>

所在地：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目12番19号 東建インターナショナルビル8階

事業内容：ソフトウェアの開発・提供に関する事業

本件リリースに関するお問合せ先

株式会社ルクレ 広報担当：株式会社Blue-Sky 阿部・三井

TEL 03-6427-5646/MAIL pr@blue-sky.tokyo